

令和元年 7 月 18 日 14 時 00 分
資料配布 近畿地方整備局

土砂災害に対する危機管理能力の向上を目指します

～7月25日 同時多発的土砂災害を想定した合同演習を実施～

六甲砂防事務所では、土砂災害に対する危機管理能力の向上を目指して、管内自治体及び関係機関と合同で、「同時多発的土砂災害を想定した合同演習」を実施します。

本演習は、全国的に多発する大規模土砂災害が六甲山系で発生した際、関係機関が連携し、迅速かつ適切に対応できるよう危機管理能力の向上を目指すもので、避難勧告発令時から応急対策・避難勧告の解除対応までの一連の流れを、できるだけ実践に近い形式（学習型方式・実戦形式：別紙参照）で実施します。

1. 演習日時：令和元年 7 月 25 日（木） 13:00～17:00
2. 演習会場：神戸市立御影公会堂 ホール 〒658-0045 神戸市東灘区御影石町 4 丁目 4 番 1 号
3. 参加機関：近畿地方整備局、六甲砂防事務所、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、兵庫県、兵庫県警察本部
陸上自衛隊第 3 師団、神戸地方気象台

※詳細は別紙をご覧ください。

4. 取材対応について：

- ・当日、受付を済ませて入場をお願いします。演習会場での取材は警戒避難対応（13：45 頃）まで可能です。
- 取材中は、演習の支障とならないようお願いします。また係員からの指示には従って下さい。
- ・「大雨洪水警報」等により災害対応が必要となった場合は本演習を延期する場合があります。その際は六甲砂防事務所ホームページ上でお知らせします。

<取扱い>

-

<配布場所>

近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ	兵庫県政記者クラブ	神戸市政記者クラブ
神戸民放記者クラブ	西宮市政記者クラブ	芦屋市政記者クラブ	宝塚市政記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 六甲砂防事務所	副所長	たむら ともひで 田村 友秀（内線 204）
	調査課長	しらひげ かずま 白髭 一磨（内線 351）
	電話	078-851-0535（代表・夜間）

同時多発的土砂災害を想定した合同演習

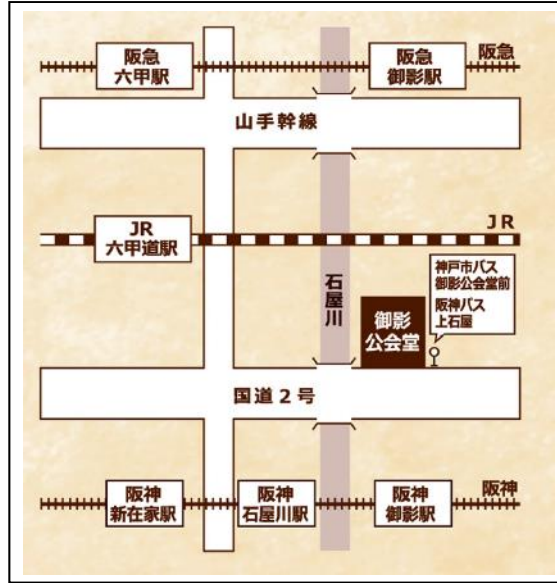
1. 演習の目的

豪雨で大規模土砂災害が発生した場合を想定した演習を実施することにより、大規模土砂災害の発生から応急対策、避難勧告の発令・解除までの一連の流れを確認し、関係機関との連携対応の確認及び防災行動計画に基づく各機関の危機管理能力の向上を図ることを目的とする。

2. 演習の概要

(1) 日 時 令和元年 7月25日(木) 13:00~17:00

(2) 演習会場 神戸市立御影公会堂 ホール
(兵庫県神戸市東灘区御影石町4丁目4番1号)



(3) 演習内容

1) 演習の災害想定

台風及び梅雨前線による豪雨により、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市の各地域で複数同時に土砂災害(土石流、がけ崩れ)が発生することを想定

2) 演習タイムスケジュール

時刻	内容
12:30~13:00	集合・受付
13:00~13:05	開会挨拶
13:05~13:15	演習の進め方の説明
13:15~16:30 (休憩10分程度含む)	演習(警戒避難対応、人命救助、リエゾンによる情報共有、応急対策など)
16:30~16:50	参加者によるふりかえり(アンケート記入含む)
16:50~16:55	講評
16:55~17:00	閉会挨拶
17:00	閉会・解散

(参考：平成30年度演習実施状況)

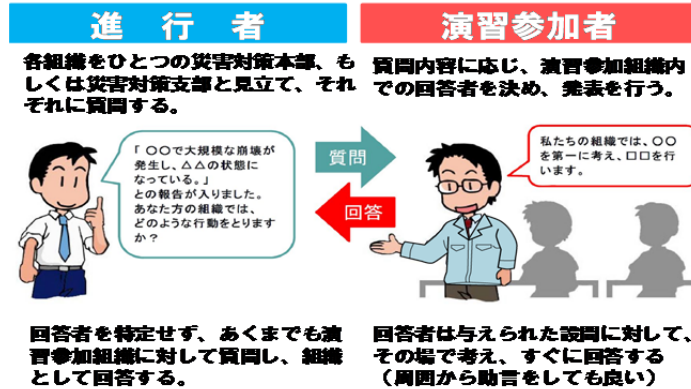


《 演習方法について 》

【（解説付）学習型方式】

進行者が災害シナリオに沿って、気象情報や災害発生状況にあわせた質問を参加組織に投げかけ、訓練参加者が組織としての対応や関係機関との連携について回答する形式で実施。
 ※各場面での関係機関の対応状況を参加者全員（見学者含む）が見ることが可能

演習のイメージ



演習では、「進行者」の他に「解説者」を配置し、演習中の解説や、演習参加者からの質問に回答する他、各ステージの総括を行う。

演習のイメージ



【実践形式】

各機関の代表者が集い、演習内で特に対応を確認したい事項について場面を切り出し、具体的に再現する。

演習のイメージ

